

日本が人口減少時代を迎えるなか、黒川温泉はインバウンドを含めた宿泊業としての需要は増えている一方、それを担う働き手は慢性的に不足している。また人材に関わる具体的な取り組み（人材採用や教育等）に関しては、現在旅館ごとの個別対応が中心であり、各々に業務量やコストに負荷が多くなり効率が悪い状況にある。そのようななかで、新型コロナウイルスの影響により、旅行需要が激減して事業売上が減少する事態に陥っており、観光・宿泊業界はポストコロナを見据えた根本的な構造改革が避けられない状況になった。

そこで今回、黒川温泉は、黒川温泉旅館組合が主体となった人材事業に与するチームを組成。人材事業の仕組みをトータルで開発・実行し、点（各旅館）から面（黒川温泉全体）への新たな仕組みを構築する。新たな体制が有するスケールメリットを生かして、人材事業や採用活動の認知拡大、業務の効率化、新しい人材事業の開発・実行を具現化して、黒川温泉における働き手の雇用促進や人材の定着を図る。

参加宿泊施設

黒川温泉観光旅館協同組合加盟
25組合員（旅館数は30軒）
*別紙あり

スケジュール

2020年7月～8月

人材事業プロジェクトチームの人選・組成

2020年8月～2021年2月

新・リーダー研修実施・拡充

2020年8月～2021年3月

「小国郷の暮らしと生業」研修の実施・拡充

2020年9月～2021年2月

人材採用・育成のポータルサイト制作

2021年2月

島根県海士町視察研修

2021年3月

人材採用・育成のポータルサイト運用開始

*事業開始は、7～8月頃を想定。

事業内容（人材の確保に関する取組）

- ①黒川温泉の“働き方ブランディング”プロジェクト
人材採用・育成のポータルサイトを制作。
- ②黒川温泉 人材事業プロジェクトチームの組成
旅館組合が主体となって人材事業（採用・育成・定着）に資するチームを組成する。
- ③新シフト体制の考案・実施
地元小国郷向けに新しく多様な勤務枠を提案し、短時間で気軽に働ける環境を整える。
- ④島根県海士町視察
島根県海士町視察にて新たな知見を得、採用や定着事業へ繋げる。

事業目標

- ・令和2年度 採用 新卒5名・パートタイム10名
→新シフト体制の実施
- ・令和3年度 採用 新卒15名
→人材採用・育成ポータルサイトや販促物の活用

事業内容（人材の定着に関する取組）

- ①新たなリーダー育成を目的とした人材育成プログラムを開発・実施
雇用した人材を定着させるためには、彼らの育成環境を整え、キャリアデザインの視点を持ってアプローチできる中間リーダー層を育成する黒川温泉版人材プログラムの開発・研修の実施を行う。
- ②「小国郷の暮らしと生業」研修の実施・拡充
黒川温泉のある小国郷で「暮らす、働く、生きる」ことの意義や価値観を共有して関心や共感をもってもらう研修を実施して、人材の就業長期化や定着を図る。

事業目標

- ・新しいリーダーを育成する研修を通年で実施
- ・従業員満足度調査（ES調査）の実施
- 5点満点中、満足割合（5点/4点）が平均で70%以上を獲得
- ・離職率を一昨年度比13%引き下げ
- ・3年勤続表彰者 20%増加

実施体制図

